

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000250
事業所名	サポートハウス東名ながくて

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	運営推進会議で、出席の地域包括支援センター職員や民生委員児童委員から地域イベントの紹介がある。 地域の作品展に女性利用者が縫い物の作品を出品し、皆で見学に行った。次回作品展には、男性利用者も参加予定である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	利用者や市・長寿課の職員、地域包括支援センター職員、民生委員児童委員等をメンバーとし、毎偶数月に運営推進会議を開催している。 昨年度の12月開催は、インフルエンザ等の影響が出たが、日程を変更して乗り切った。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議には、市・長寿課職員と地域包括支援センター職員の参加がある。 長寿課職員は市の取り組みを説明し、ホームの質問に的確に答えている。 地域包括支援センター職員は地域行事を紹介している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族からの意見や要望に関しては、極力叶えるように努めている。 家族アンケートには、「夏場の水分補給」や「定期受診後の家族への連絡」等、健康管理の充実を願う要望があったが、既に対応済みである。 「サポートハウス通信」が毎月発行され、ホームの状況や利用者の様子を家族に伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○